

Safety & Smile

For the purpose of everybody's smiling face, I provide with high quality safely.

きっと、もっと、良い流通があります。
私たちは安心した品質でお届けします。



会社案内

ご挨拶

1995年に省エネ事業部と言う部門を創設いたしました。

現在、その部門は油吸着分解材『スノム』を製造するメーカーへと成長しましたが、なぜ運送会社がそんな事をするのか？ 当時多くの方々に尋ねられました。

『21世紀に生きる企業の条件』が答えです。

私達企業は、現在のお客様と社員の夢を守り、しっかりした土台を築き、日本経済の一旦を担わなければなりません。しかし、一方では、将来生まれてくる日本人の子孫達に、お前達にこんなりっぱな日本を残してやったぞと云えなければならない責任があります。

私達は運んでいるだけでは駄目です。事業を進めながら、社員が育つ環境整備をして、価値感をお互いに認め、先の将来の日本の事も考えるのが、企業責任だと思います。

あの時から二十数年の時を経て、少しずつ、夢が生まれつつあります。時間はかかりましたが、運ぶだけでなく、物流の企画、又その周辺事業から、全国へと考え方が広がりました。

私たちの想いは『最適な提案と実行をクライアントへ！』です。

D S B (Distribution、Support、Business) は、クライアント物流をサポートするための造語です。

主体はお客様にありながら、全てのステージの支えは私どもが行う。この一步下がった立場を取る事が、私たちの姿勢であり、事業のあり方です。

海外物流はもちろん工場内管理も行える皆様のサポート企業として社員共々全力で進んでまいり所存です。

周防運輸株式会社

代表取締役

友景 昭隆

会社概要

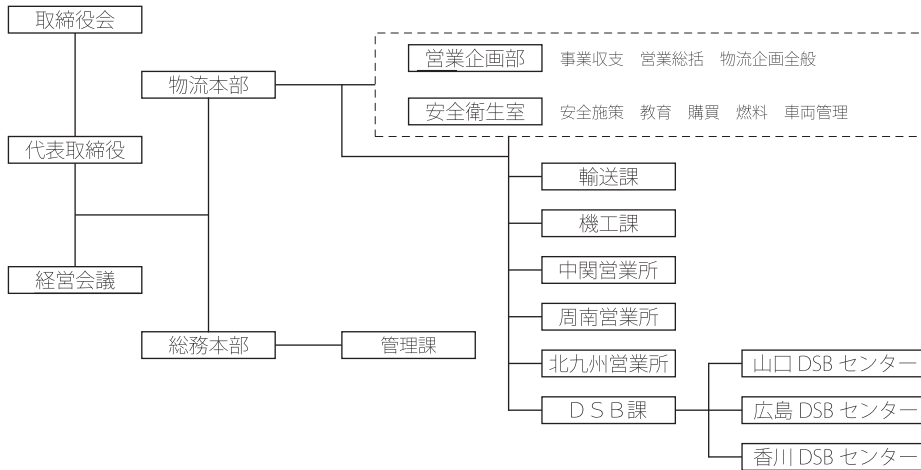
商号	周防運輸株式会社
本社	〒747-0825 山口県防府市新田 246 番地
連絡	TEL 0835-22-2507 FAX 0835-24-0072
創業	1928年（昭和3年）11月
設立	1964年5月20日
資本金	3,300万円
代表	代表取締役 友景昭隆
従業員数	145名（2013. 3. 1現在）
車両台数	140台
事業所	中関営業所（山口県防府市） 周南営業所（山口県周南市） 山口営業所（山口県山口市） 北九州営業所（福岡県北九州市） 山口D S Bセンター（山口県防府市） 広島D S Bセンター（広島市西区） 香川D S Bセンター（香川県高松市）



取引銀行 山口銀行／広島銀行／もみじ銀行

営業種目	<ul style="list-style-type: none">・一般区域貨物・自動車運送事業・港湾運送事業・貨物取扱事業・クレーン作業	<ul style="list-style-type: none">・倉庫業・環境製品の販売・建設業・内航運送取扱事業 及び代理店業務	<ul style="list-style-type: none">・機械器具設置事業・建設用敷鉄板の賃貸・産業廃棄物収集運搬業・自動車分解整備事業
------	--	--	---

組織図



関連会社

有限会社アセンティ
株式会社タイムブレイン
防府荷役株式会社
流通センター協同組合

保有車両内訳

4tトラック	4台	トラクター	21台	10tセルフローダー	1台
4t冷蔵冷凍車	26台	トレーラー	14台	ミキサー	6台
10t平トラック	10台	タンクローリー	3台	その他	3台
10tウイング	35台	ラフター	6台		
海上コンテナトレーラー	6台	クレーン付トラック	4台	計	140台

沿革

1928年	11月	山口県佐波郡徳地町堀（現在 山口市徳地堀）にて友景運送店として創業
1954年	9月	戦後、友景昭が友景運送店を再開
1963年	11月	協和発酵防府工場内に作業所を新設
1964年	5月	友景運送店を周防運輸株式会社に変更
1970年	6月	山九（株）と業務提携
1971年	2月	山口駐在所、徳山駐在所を設置
1973年	4月	田村回漕店と周防運輸を合併し、周防運輸（株）港湾部を設立し、田村回漕店を解散
1974年	2月	防府流通センター協同組合の設立に加盟
	4月	生コン輸送業務を開始
1977年	5月	整備事業を開始（現 山口市徳地にて）
1981年	7月	本社の法人籍を徳地堀から防府市に移転
1982年	4月	防府荷役株式会社の設立に出資
1986年	7月	代表取締役 河野敬郎就任
1987年	8月	徳山駐在所を下松営業所に昇格させ東洋港運（株）レミコン部の輸送作業を開始
1988年	6月	代表取締役 友景昭隆就任
1991年	11月	下松営業所を周南営業所に名称変更し徳山市（現周南市）に開設し、山九（株）の海上コンテナ輸送作業を開始
1992年	2月	機工部門を新設 機械・モニュメント設置 JR関係メンテナンス事業を始める
	12月	新社屋落成に伴い、CIを実地し新体制スタート
1993年	5月	鉄板リース業を新設
1995年	7月	省エネ事業部を新設
2000年	3月	コマツ山口の組織変更に伴い、山口駐在所を閉鎖
2002年	5月	一般建設業 とび・土木工事業、機械器具設置工事業の認可を取得
2004年	1月	省エネ事業の油吸着剤『スノム』の発明に伴い、（有）アセンティを設立
	10月	流通事業部を新設
2005年	10月	名古屋事務所を開設
2006年	1月	従来の陸運部を第一事業部、第二事業部、新規事業部とする
2007年	4月	徳地整備工場を廃止
2008年	10月	DSB事業部を開設
2010年	4月	広島DSBセンターを開設
2011年	1月	北九州営業所を設置
	8月	名古屋事務所を廃止
2012年	10月	DSB事業部 香川センターを開設

環境への取り組み

■環境方針

全社員が無理・無駄を省き、経済活動と地球環境保全の両立を目指す。

■基本理念

21世紀の企業として、未来の子供たちに美しい地球を残すことが企業責任である。

～排気ガスの削減、省エネルギーの率先、省資源化への企業努力。

～交通事故の撲滅、効率的な物流配送車、計画的な資源活用を図り、社員一人一人が環境に対する主体的意識を持ち、社会に貢献できる地球企業として最善を尽くす。

■環境行動指針

- ・車輛の燃費率を上げるために、管理運営・エコドライブの教育を毎月行う。
- ・車輛管理のために、管理表の運用・社員との対話・張り出し表の活用を行う。
- ・交通事故撲滅と意識レベル向上のために、歯止めの推進とエンジンカット運動を推進する。
- ・管理組織にて、毎月の管理報告とPDCA運動を通じて、常に前向きな行動をする。
- ・安全推進委員会を毎月行い、本指針を全社員に周知徹底し、クリーンな作業を目指す。
- ・決められた事は文書化して全社員に周知徹底し、その推進と維持に努める。
- ・環境に対する意識レベル向上のために、情報収集と勉強会を通じて新たな汚染予防に取り組む。
- ・当社は、サービスに係る環境関連法規制、その他当社が同意する要求事項を遵守する。

■環境事業

当社は、運送会社として地球環境・保護に事業として取り組み、1995年に省エネ事業部（現：流通事業部）を立ち上げ、以後様々な商品の開発をしてまいりました。

2006年中小企業創造促進法に基づき山口県の認定を受け、生分解性油吸収剤「スノムワイド」、生分解性土壌改良剤「スノム土壌」を開発。平成16年から市場導入を開始、国内外を問わずあらゆる産業分野から高い評価をいただいております。

開発に当たっては山口県をはじめ山口大学や民間で長年、油吸着剤の研究を行っておられた山口県在住の方々のご協力を得ました。製品化に伴い平成16年1月、有限会社アセンティアーを設立し工場を当社の本社構内に建設、平成18年7月より稼動しております。また、山口県の外廓団体「やまぐち産業振興財団」からビジネスモデルプランがクラスAの評価を受け同団体の支援を受けており、技術面では山口県産業技術センターの指導を受け製品の性能・品質・商品開発のサポートを受けております。

特許出願中（特願2003-378158）。

エコマーク認定（平成17年6月）。

国土交通省NETIS登録（登録番号：CG-060014）。



安全管理

■安全マネジメント基本理念

“健康であること”安全であること”その状態の為に周防運輸全社員は一人一人が築く安全に努力し、笑顔の家庭と安心な輸送を通して社会に貢献し、お客様と共に高品質な輸送価値に取り組み、地域社会を『安全と笑顔』に巻き込む。

■安全基本方針

- I 法規則の遵守
- II 安全運転の周知徹底
- III 確実な車両運行管理

■グリーンへの目標

エコドライブの意識徹底、各車両の燃費目標の確立により、各ドライバーが燃費改善と車両管理に努めています。

■二酸化炭素の排出は？

地球温暖化がこのペースで進むと、2100年には平均気温が2度ぐらい上昇し、南極や北極の氷が溶け、海水がふくらんで、海面が約50cm上がると予想されています。

地球温暖化を防ぐには温室効果ガスの95%を占める二酸化炭素の排出を減少させることが重要です。二酸化炭素量は燃料の消費量に比例しています。

このため各車両の排出量を計測し、毎年の目標をクリアするようエコドライブ運動に取り組んでいます。

■デジタコ運動

デジタルタコグラフにて数値管理をしています。最高速度、平均速度、急発進、急加速、急減速、アイドリング時間、速度オーバー時間、エンジン回転オーバー時間など、安全運転ランキング、経済運転ランキングなどです。また6分間隔のエンジン回転数の推移から発進時からトップギアまでの回転数を調査して指導しています。

■社員手帳

笑顔の家族写真：苦しい時、つらい時、笑顔の写真を見て下さい。あなたがやるべき事は笑顔で家族のもとへ帰る事です。だから、もうひとふんばりするの、あるいは安全の為に一休みするのか・・・。

事故したら、ケガしたら、笑顔では帰れません。『安全と笑顔』は1人1人の心の問題です。一年に一度、笑顔の家族の写真をとって手帳に貼る。その事から『安全と笑顔』は始まるのです。

手帳内容：スローガン、エコドライブ8推進、各担当電話帳、環境方針、安全基準、安全推進計画、緊急事故マニュアル、道路交通情報連絡先、全国トラックターミナル情報



Feature 1 流通支援事業（DSB：Distribution Support Business）

【ハブセンター】

- 山口DSBセンター：防府市新築地町 島根 DSB デポ：益田市 山口事務所：山口市下小鯖
- 広島DSBセンター：広島西風新都
- 香川DSBセンター：善通寺市 愛媛 DSB デポ：愛媛県東温市 徳島 DSB デポ：徳島市

【製パンメーカー様共同配送】

小売店、チェーン店ストア様への納品業務

- 共同配送納品店舗数：約 1,700 店舗
- テリトリー：山口県 広島県（福山地区除く） 島根県（出雲地区除く） 四国 4 県
- 敷島製パン、リョーユーパン、神戸屋、タカキベーカリー、ヤマキフーズ、松月堂製パン、第一屋製パン
岡野食品産業、あわしま堂、アペル、クレセント、各社様（順不同）

【製パンメーカー様仕分け支援業務】

DASシステムによるデジタルピッキング

- 実績：広島DSBにて、880 座席、総量入荷方式個別店舗仕分け業務
各チェーン店納品センター向け同時処理
- 共同配送店舗様へのメーカー様ドッキング作業及び納品帳票、伝票仕分け代務（幹線輸送：横持ち）
工場間輸送、各納品センター向け共同輸送（共同横持ち）
- 実績：XD（イオン）、イズミ、フレスタ、丸久、LW、セブンイレブン、他
※山口県、広島県の各社様納品センター全納
- 工場間輸送：共同配送参加各メーカー様工場間製品移動、ハブセンターへの輸送

【提案業務】

- 販路拡大提案型配送コース運用（新規店舗情報）
- センターフィーによる販売物流費の適正及びコース改善
- 幹線輸送の共同化等によるコストの適正
- 特売情報に基づく配車システム
- パン箱保管管理
- 環境施策、サニテーション管理運用



365 日 24 時間体制で、メーカー様の代理業務事業者として、メーカー様になりきった物流、流通を行っております。

ただ運ぶ、単に納品するではなく、付加価値の高い品質が当社 DSB の暖簾でございます。

Feature 2 運送業務

【営業所】

- 本社営業所：山口県防府市
- 中関営業所：山口県防府市
- 周南営業所：山口県周南市
- 北九州営業所：福岡県北九州市

【一貫物流】

様々な物流作業に対応、港作業、陸送、輸送、構造物作業、建設作業へ、全国での重量物配送。
近・中・長距離輸送、重量物、海上コンテナ、ユニック作業、全国配車手配、港湾荷役。
情報収集、発信等無駄な物流を無くす効率化物流を実施。

【精密部品輸送】

マツダ（株）防府工場 / マロックス（株） / （株）ブリヂストン防府工場 / 日立笠戸重工業協業組合
（株）ブリヂストン下関工場 / 王子ゴム化成（株） / 積水ハウス（株）山口工場 / 住商メタレックス（株）等
順不同 各社様工場製品、精密機械部品輸送。自動化された製造ラインサイドへジャストインタイムで納品する部品が多く、分刻みのタイトな運行ダイヤ、ミリ単位以下の品質が求められるプレス製品等を習熟したフォークリフト作業により迅速かつ確実な荷役作業により輸送しております。

【海上コンテナ輸送】

山口県・北九州市の港から中心に、海外入荷コンテナを全国へ輸送しています。
山九、STK、STCH、等 各社様の業務も行っております。

【特液物ローリー輸送】

化学薬品の輸送。
次亜塩素酸等を主体に行っております。

【機工部門】

エレベーターの設置工場、メンテナンス業務、機械プラント設置工事、クレーン作業。

Feature 3 安全衛生室

- 安全衛生施策の立案ならびに実施
- 指導教育計画の作成ならびに実施
- 車輛の点検・整備を含めた管理業務
- 燃料を始めとした各種購買業務

【中央安全衛生委員会】

物流といえどもその業態は45tクレーン作業から機械器具設置工事、精密部品輸送、店舗配送、倉庫内仕分作業など多岐にわたっております。しかし、安全衛生の基本は同じであり、様々な視点から見ることで問題の本質を捉えることも出来ることから、毎月月初めに九州、四国の各拠点責任者も交えた中央安全衛生委員会を開催しております。年間の運輸マネジメント計画に基づいたPDCA活動（PLAN・DO・CHECK・ACTION）を展開していくことで安全で快適な職場作りを目指しております。

【安全パトロール】

毎月、社長をリーダーとした2～3名の編成による安全パトロールを実施しております。日々変化している各種作業現場を社長自らパトロールすることで、実態把握が出来、不安全行動の撲滅に寄与できているものと思います。

【衛生管理】

一般定期健康診断を始め深夜業務従事者健康診断の100%受診はもとより産業医、保健婦によるフォローアップ健診を実施するなどして健康の保持増進を図っております。

【指導教育】

年間の指導教育計画に基づき実施

“無資格作業の排除” “社員の資質向上” “マンネリの撲滅”

【先端機器の導入】

ドライブレコーダー付きデジタルタコグラフ装置の導入、蛇行警告装置付き車両の購入などヒューマンエラーに対処する為の機器の導入を推進しております。